



主な目次

ふるさと文学散歩23 古川薫と歴史小説と萩	P4
ズームアップ 渡辺典子(千葉県)	P6
夢追人 マキタオモリツグ、納富尚子(萩市)	P7・12
元気企業探訪16 (株)エヌティーエー旅行(萩市)	P8

着物ウィーク in 萩(10月1日~12日)の「着物フォトコンテスト」のグランプリ作品は、3人の女性が菊ヶ浜の海岸に腰かけて海を眺めている風景。着物の色や髪飾りが、背景の菊ヶ浜に合って新鮮、と評価されました。表紙裏の萩八景遊覧船の写真と併せ、城下町の武家屋敷ではなく水辺と着物、という新しい魅力を発見。審査委員の一人は、地元写真家の^{まきたおもりつぐ}横峠守貞さん(7ページで紹介)。

第90号 2009年11月

発行：萩ネットワーク協

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

「風に吹かれて」 新しい着物の魅力

写真：高村奈保子(山口市)





ジャパン ルージュ



「金太郎」は「ヒメジ」の地方名。鮮やかな朱色が萩地方で昔から親しまれてきた魚です。15cm程度の小魚ながら、甘味のあるほっこりした身は、大型の白身魚にも勝る味わい。まとまった漁獲がないため、都市部での流通はほとんどありませんが、萩では年間約70tと全国でも有数の漁獲量を誇ります。

また、漁場が近く、鮮度の高い状態で運ばれてくるのも特徴です。



朝水揚げされたばかりの魚が東京で（紀ノ国屋渋谷店）

萩の金太郎

萩ブランドへ向けて

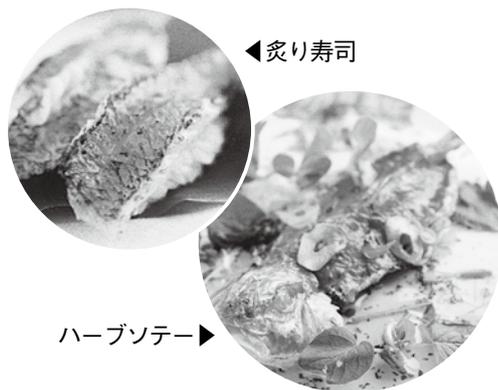
萩商工会議所では、「萩の真ぶぐ」、「萩のあまだい」に続き、今年「金太郎」を、萩ブランドとして全国に売り込むため取り組んでいます。

金太郎は、萩ではお馴染みですが、スーパーに並ぶのは萩や下関だけ。東京・築地市場など都市部でも流通は皆無で商材としては手つかずの魚です。

金太郎のブランド化、首都圏開拓

11月20日には、東京表参道で、バイヤーとマスコミを招いて「金太郎を創作フレンチ・イタリアンで楽しむ会」を開催し、和食だけでなく、新たな分野での素材としての開発や業務向けの加工品販売などの可能性を探ります。首都圏での販路開拓にも積極的

に取り組んでいます。萩の水産物は少量多品種のため「低価格」「安定供給」を求める大手の量販店ではなく、高級食材専門店や割烹、フランス料理店などのマーケットに狙いを絞りました。9月に紀ノ国屋渋谷店で「萩のお魚フェア」を開催しました。



炙り寿司

ハーブソテー

萩には面白い商品がある と、首都圏にチャンネル を持ちたい

萩漁港に水揚げされる魚は約250種と多種多様。少量のためこれまで雑魚として扱われてきた魚にもスポットをあてようと、ブランド化に取り組み、「萩の真ぶぐ」は見事に成功。味はトラフグに引けは取らず、しかも価格は10分の1程度と安い。萩の新しい特産品と注目を集め、魚価が1.5倍に跳ね上がりました。

道の駅「萩・シーマート」の中澤さかな駅長は「雑魚として見向きもされなかった魚をスターにしようという作戦。『萩は面白い商品を持っている』と首都圏に対してチャンネルをしっかりと持ちたい。萩の名前を首都圏でもチラチラと目にするようになって、新たに萩に訪れる人が増えればいい循環になる」と話しています。

道の駅「萩・シーマート」全国主要道の駅で売上高9位

今や道の駅は全国に917ヶ

所、専用のガイドブックが数多く販売されるなどのブーム。中でも、萩・シーマートは、年間

売上高が約9億3000万円（08年度）に上り、全国の主要

な道の駅で第9位（1位「あらい」新潟県、2位「富士川楽座」静岡県、3位「七城メロンドー

ム」熊本県。

（日経グローバル10月5日号から）

8年前に開業し、隣接する萩漁港で水揚げされる新鮮な魚が手頃な値段で買える「市民の台

所」。利用者の約6割が萩市内、残り3割が県内、他府県は1割と、地元密着型で成功した道の駅として注目を集めています。



東京青山で

萩の器とうまいもの展

11月20日(金)～23(月・祝)

Rin：東京都港区北青山3-6-26、TEL03-6418-7024
(東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」B2またはB4出口から徒歩2分)



◆萩のうまいもの「金太郎」無料試食

11:00～19:00、3階スペース
今回新しく製品化された萩のブランド魚「金太郎」の無料試食のほか、萩の特産品を展示販売

◆「萩ブランド商品」特別販売

11:00～19:00、1階ギャラリー
「金太郎」の新商品のほか、幕末から現代によみがえった「萩ガラス」や雑貨、お菓子、工芸品など萩の逸品の数々を展示販売

◆「金太郎ランチ&ディナー」テスト販売

11:30～23:30、2階ダイニング
「金太郎」を中心に、萩の旬の地魚など、萩の海の幸、山の幸を使った食事をご用意

古川薫と 歴史小説と 萩



△萩博物館の長州砲と

(2006年 毎日新聞社)



た「わが長州砲流離譚」を、昨年は乃木希典を描いた「斜陽に立つ」を上梓するなど旺盛な創作意欲は衰えを知らない。
極々要約すれば、これが80有余年に亘る古川薫の表面的作家人生である。

それでは、古川の萩への心情は
いかにか。

自身の言葉を引くと「私は下関で生まれたが、母の実家は広島である。市井家は毛利氏の典医をつとめていながら、防長移封の時は、そのまま広島にとどまった。」萩にはエリート家臣だけが選ばれてきたのだというようなことを耳にすると、落ちこぼれの子孫は憮然たる面持ちとなる。それでも萩は私にとって遠いふるさとだという思いがあり、それはおそらく見捨てられた不肖の子が、恨めしさと思慕の入り混じった目で両親を見つめるような心境であろう。」(城下町萩)と記している。

また「下関市で生まれた私は、小学校に上がる直前、父母と共に宇部市に移った。初めて萩へ行ったのは、工業学校に入学して間もなくのころである。私達の学校の校長はご多分にもれず古川松陰の崇拝者で、一年生は必ず萩に一泊二日の修学旅行をすることになっていた。」と遠い昔日を想う。

作家になってからも萩は身近に

あったという。「私は長州藩に取材した作品を次々に書くようになり、年に二、三度は下関から萩に足を運んだ。萩は維新史の栄光になう人物群だけではなく、賊の汚名をきせられて歴史のヒダに隠れた人々のふるさとでもあった。」

「私の回想の中に拡がる萩は、疾風怒濤の時代を駆け抜けた末に、歴史の化石となって静寂につつまれる旧城下町である。そこそが明治以後を生きた長州人の精神的原風景でなければならなかった。私はこれまで萩に取材した作品と取り組んでいるとき、遠い過去自分の視野におさめた「聖麿市」の情景をたぐりよせ肉付けして、幕末の城下を再生した。それが栄光と挫折を交錯させながら、激動期を疾駆した人々の青春の舞台であった。」(幕末長州に吹いた風)

古川は時代と長州を洞察することに創作の視座を置いていよう
に思える。

「長州攘夷戦争始末」松下村塾「高杉晋作」などの原点的作品における俯瞰性から、視点を定めて長州という具象と抽象に鋭く切り込んでゆくのは、古川が、かつての記者としての取材・調査力に裏打ちされているからなのか、または勝者と敗者が織りなす歴史のヒダに深く感じ入る反骨的郷土愛によるものであろうか。

今年(2009年)は吉田松陰が大獄に殉じた安政6年(1859)10月27日から数えて150年の節目に当たると萩市では記念式典をはじめ多様な催事が行われた。そのひとつに松陰を主人公にした映画制作がある。原作は古川薫さんの「野山獄相聞抄―吉田松陰の恋」だ。

下関の地にあつて、歴史小説を精力的に書き続けている「古川薫」を私たちは著名な作家として、また郷土に生きる文化人として敬愛してやまない。

筆者は古川薫氏の聲咳に触れる機会が何度かあったが、小説に關するお話は恐れ多くて伺うことはなかった。従つて本稿は氏の100冊を超える著作の中から、長州を素材にした歴史小説等を読んで「古川薫の世界」に浸つてみた。

古川薫は大正14年下関市に生ま

れ、高校を出て一旦就職したあと山口大学教育学部に学んで教職に就く。しかし教員は一年でやめて現山口新聞社に入社、記者の傍ら創作活動も続け、昭和40年、長州藩の志士大楽源太郎の悲劇を扱った「走狗」が直木賞候補となつたのを機に本格的な文筆生活に入ることを決断する。このとき古川45歳、新聞社では編集局長の要職にあつた。その後長州藩の藩医栗山孝庵を描いた「女体蔵志」、岩国藩主吉川経幹を扱った「塞翁の虹」、英国大使館焼打ち事件に参加した若者たちの人生を描いた「十三人の修羅」、獄中の吉田松陰と高須久子との交わりを綴つた「野山獄相聞抄」、明治天皇の叔父で天誅組主将中山忠光の怪死事件を扱った「暗殺の森」など直

木賞候補10回という最多記録を経て、平成2年オペラ歌手藤原義江の伝記小説「漂泊者のアリア」で第104回直木賞を受賞した。受賞時年齢65歳は最高齢。

最初の候補作品を書いてから25年経っていたが、受賞インタビューで古川は「それは非才の身で大きな賞をいただくのに必要な時間でした。直木賞は終始きびしい激励の声をかけてくれる伴走者でしたので、私は決して孤独ではありませんでした」としみじみと喜びを語り、聞く人々に新たな感動を与えた。翌年山口県は県芸術文化振興奨励特別賞を授与して労った。その後もずっと執筆を続け作品は100点を超える。その多くが長州を舞台にした歴史小説だ。近年では平成18年に海外に流出した長州砲の行方を追い求め

私たちがU・J・Iターン
をサポートします

阿武町定住 アドバイザーに 5人を委嘱



▲茂刈さん「私が一番好きな場所は阿武町の尾無です。自分の暮らし方、考え方、地域への思い入れがあればそこは都になります」



▲白松さん「田舎のルールを説明しながら、まちで培った色々な技術やノウハウを阿武町の中で発揮していただけるよう応援したい」

定住者の生活相談、 地域との仲立ちを支援

町の地域活性化を図るため、U・J・Iターンなどの定住希望者を積極的に受け入れ、町の新生活に関する生活情報の提供や相談、地域の紹介や仲立ちなどの支援を行うことを目的とした、「阿武町定住アドバイザー」の制度を設け町内から次の5人に委嘱されています。

- 【〒占地区】①水津克紀（浜の4、漁師「翔恵丸」船長、ニューフィッシャー（新規就漁業者）師匠）
- 【福賀地区】②白松博之（下笹尾、民宿「樵屋」主人、有あつたか村代表取締役）、③原勝志（伊豆、

岡山からUターン、ほうれんそう栽培農家）

- 【宇田郷地区】④茂刈達美（尾無畑、漁家民宿「浜の小屋」主人、漁師「加州丸」船長（海士、一本釣り）、⑤西村良子（郷、農家民宿「一服庵」世話好き女将）

阿武町では、平成18年度から空き家バンク制度を開始し、現在までに25世帯55人が阿武町に定住。団塊の世代に限らず若い世代の定住が増えていきます。町のホームページに空き家情報を登録（家賃、間取り、写真など）し、情報を提供しています。ホームページには毎日50件のアクセスがあります。

◆阿武町ホームページ <http://www.town.abu.yamaguchi.jp>

「塞翁の虹」「十三人の修羅」「暗殺の森」「幕末長州藩の暗闘」「花冠の志士」「獅子の廊下の陰謀」「奇謀の島」「異聞関ヶ原合戦」など史実と史実を繋ぐブリッジに古川の深い思いが込められ、読者に重い感慨を与える。

古川は「私が気付いたのは、長州維新史のいわゆる正俗両派の、だれが善玉、だれが悪玉であるかを簡単に決めつけることの困難さについてである。」

「考えてみれば、王政復古史観への警戒を強めながらも、私らが語ってきた長州維新史は、俗論党といわれる人々を憎悪し、勤王の志士を讃美するなどの起点から、早々と黒白をつけてしまっていたようである。すくなくとも「正義」が「俗論」を倒し、尊王派が佐幕派を圧倒して明治維新が実現したという単純な図式で割り切れるものではないということなのだ。」と述べている。

古川は、教材的歴史観では語りつくせない歴史のヒダに光をあてる。例えば第一次長州征伐の危機を救った三家老の代理責任、とりわけ切腹を拒否する福原越後の心情には深い洞察を加え、「時代と個」についての認識を促す。

そのことは、中山忠光や大塚源太郎らを守る立場の藩が、やがて持て余して逆に暗殺するという哀

しい図式もまた同様である。私なりの読後感でいえば、「取材力の深さ」「失われゆく真実への思い」「敗れし者への愛惜」「深い郷土愛」「どこかに反骨」「畏敬される文化人」といった感じだ。

古川は萩の町のことも折にふれて書いている。

「松下村塾の前に立つとき、人は様々な思いに駆られることだろう。この粗末な木造平屋建ての小屋同然の建物が、明治維新の震源地であるという事実を前に、物質的環境を越えた精神の影響が、いかに偉大であるかということ、つまりは教育というものの恐ろしい力を、あらためて思い知らされるからである。」（長州歴史散歩）

「萩は維新史における代表的な史跡のひとつだが、そこには現代人が日常の生活をいとなんでいるのであり、生きた都市の機能を備えている。いつまでも前世紀の古びた顔を持ち続けてほしいと願うのは、よそ者のわがままというものである。」（維新の長州）

古川は、萩市がいま取り組んでいるエコミュージアム「まちじゅ博物館」という概念をいち早く感じ取っていたといえる。

古川は、歴史小説と時代小説について、虚構の排し方や史実の省略と配列で小説の様相が変わる

とした上で、「同時代の人間について語るよりも、すでに必然性を伴って現れる過去の時間に生きた人物を凝視することが、より人間理解に接近できる。」

「作家があることを書きたいと意欲する発想の根本には、必ず現代が投影している。」とし、「つまり、史実に濃密な興味を向けるか向けないか、作品における史実採用の位相をふくめて、歴史小説となるか時代小説となるかを決定するのは、その時、その作家が持つ文体によるのだと言ってもよいのではあるまいか。」と。（山口県人）

評論家縄田一男は「古川は強い郷土意識を持ち、その裏返しとしての幅広い視点を併せ持っている。彼の歴史小説観は、つねに作品内部に、歴史的現代を見据え、正立虚像の手法によって史上人物・事件を描いてきた確固たる自信の表明であり、同時に読者が古川薫という作家に対して抱く信頼の証でもある。」と評している。

古川は、長州人を主人公に現代に連続と続いている幕末維新史の断面を鮮やかに切り取り、私たちに時空を超えた「人間の本質」「時代と個」という概念の有り様を示している。

（高井 誠 エッセイスト 日本ペンクラブ会員）

萩光塩学院同窓会関東支部「光友会」
(自称)マダム芸人

萩光塩高等学校 昭和49年卒業

渡辺典子 さん

(長門市油谷出身、千葉県柏市在住 54歳)



50歳を過ぎて、羽根を背^{しょ}つて頭に冠をつける私も変だけど、「久しぶりに本物の妖精さんに会いました」とは3歳の女の子のお父さん。えっ?今久しぶりにって言った?本物って言った!?こんなお父さんステキすぎる!!。

以前に大人になってもずーっとサンタさんを信じている父親がいて、子どもにプレゼントが来なくて悲しい思いをした話を聞いたこ

とがあるけれど、どうぞクリスマスにサンタさんが来てくれますように…。

さて、本物の妖精さん(笑)以外にも、私にはまだまだ呼び名があります。『マダム芸人』『ひめ』『ゼリー先生』そして、夫からは『地球外生物』。ここまで読んでも私が何をしているのか分かる人は少ないでしょうね。

講師や司会など

ボランティアで

子育て支援、老人福祉に関する講座の講師、各種イベントの企画や司会等のほとんどを、夫に感謝しつつボランティアでやるようになって30年近くになります。

そんなある日、♪世界中の子どもたちが、一度に笑ったら、空も笑うだろう。ラ・ラ・ラ海も笑うだろう♪…という歌を耳にしました。その時、なぜか「これこそが私の夢だ!」と思いました。もしも世界中の子どもたちが一度に笑うことがあったら、空だって海だって笑うかもしれない、私はそれが見たい、と本気で考えたのです。でも、子どもが笑うには、家族が幸せでなければいけない、環境が整わなければいけない、そして経済的にも豊かでないといけない。その日から、私の楽しくも忙しい日々が始まりました。

最近では少子化対策という言葉をよく聞きますが、何かずれているような気がしてなりません。子どもが少ないことが問題なのではなく、少ない子どもたちが幸せではないことが問題なのです。自分を好きになれず、愛されているという実感のない子どもが増えています。人の人生はその一瞬すべてが大切で、どうしてもイイ時期なんてないはず。乳児も老人も、病人も障害者も、世界中の誰もが大切にされる社会になるには何をすれば良いのでしょうか?

答えを持たない私は、とりあえず、『ひめ』になったり、『見た目マダムでしゃべると芸人』になったりしながら、思いつき笑顔で皆に会いに行くのです。

ふるさとの

なまり懐かし

私の住む千葉県柏市の運動会に参加した時のこと。パン食い競争から戻る私の前を歩く人が「こねえな、まあこたあなあ」とつぶやいたのです。今ときは、山口でもお年寄り以外使っていないと思いますが、思わず声をかけ、それ以来の仲良しになりました。

また、「いつちきち、みちきち、みちこお」(行つてきて、見てきてみよう)は故郷向津具半島の一部で使われていた言葉ですが、これらはもう芸術品です!

故郷を離れると、この美しい言葉たちが都会の中で人と人を結ぶのです。美しい海山川と帰りを待つ優しい同胞、そして懐かしい言葉…。いつまでも変わることなく、と祈るだけはいけませんよね。外に出た私達にできることを考えなければ。

プロフィール

1955(昭和30)年生まれ、萩光塩学院高等部74(昭和49)年卒業(23回生)。立正女子大教育学部を結婚のため中退。1982年から「典子のライブハウス」(通称)という小学生から大学生までの子どもたちの学習+居場所的な個人塾を主宰。同年より「たつのお話し会」を立ち上げる。また、子育て支援や福祉関係のボランティア活動をするかたわら、公民館や近隣センターなどでの生涯学習講座の講師、各種イベント企画や司会などで活動中。

□柏市図書館協議会委員、柏こども読書応援プロジェクト実行委員、柏市民健康づくり推進員、日本子どものための委員会会員、柏ブックスタートボランティア、柏子どもの文化連絡会子育て支援委員長、なんちゃって心理学会(N・P・A)員、たつのお話し会主宰、マダム芸人



写真家

マキタオ モリツグ さん

(萩市唐樋町在住、萩高平成6年卒 33歳)

カメラがおもちゃ

大きな体のわりに恥ずかしがり屋で内気な少年時代、祖父の代から始まった写真館のスタジオが遊び場で、おもちゃはカメラでした。小学校2年生くらいの時から、日曜日の度に重たい機材を運んだり組み立てたりとアシスタントの仕事をしており、無意識のうちに写真家の道に進んでいました。また、中学、高校と野球部に入っていたこともあり、内気な少年は見事に心身を鍛えられ、協調性と社交的な部分を身に付け、行動力をも持つようになったと思います。

高校を卒業し、今は無き日本写真学園に進学。卒業後、01年に萩に戻り、家業である写真館に身を

納めます。その頃は写真家としてではなく、写真館の社員として業務をこなしながら、自分に納得のいく写真を切り撮る日々を送っていました。

テラウチマサト氏の生徒

06年、同級生が中心に地元活性化ボランティア団体・萩大志館の活動を始めます。その萩大志館の事業の一つに、ワークショップがあり、「誰でも簡単に上手く写真を取れる講座」の講師を頼まれました。今考えるとその事がきっかけで、写真を地域活性化に繋げるには、と考える始めたと思います。

そして同年、着物ウィークin萩が初めて開催され、ゲストフォトグラファーとして呼ばれていたテ

ラウチマサト氏との出会いがありました。交流を深めるうち、同氏を師事することを決め、萩と東京を行き来しながら、写真館の仕事と並行して、改めて写真家としての勉強を始めたのです。

写真展・萩コレクション

帰郷した翌年から入っている萩青年会議所に社会開発委員会という地域活性化を目的とした委員会があり、今年度、その委員長に任命されました。

萩の基幹産業である観光に着目し、何らかの方法で事業を起こさなければと考えていたのですが、写真しか能力ない私には、発想力が乏しく、コレだ！という事業を発案できずにいました。悩みに悩

んだ末、ある時、「写真しかないのなら写真の持つ力で地域活性化を…」と、吹っ切れるかのよう

写真の持つ力で発射

萩コレクション展開催にあたり、多くの人と出会い、話をし、長い距離を移動し、自分の眼で色々なものを観る事ができました。また、色々な人の意見を聞くことも大切ではあるのですが、最後

の最後は自分を信じてやる事が大事だとも感じる事ができました。この経験は私にとって大きな財産となり、「写真を通じて萩を元気に！」という私なりの地域活性化アクションへの糧となってくれると信じています。

現在デジタルカメラが主流となり、誰でも簡単にキレイな写真が撮れるようになり、過去の写真家が必要とされる技術は表面的に必要ななくなっています。しかしながら「キレイな写真」と「良い写真」とは別の話。誰でも何処でも簡単に写真が撮れ、プリントできる時代だからこそ、私は写真家として、「畑を耕し、種を植え、水をやる」といった気持ちで撮影していき、生まれ育ったこの萩で、萩の魅力を写真の力で発射していきたいと思っています。



東京展

プロフィール

マキタオモリツグ (本名 榎井守貢)

萩を拠点に構えながらも、写真家としての道を歩む。この夏、萩・東京・神戸だけでなく異国の地ロンドンでも開催した、写真家テラウチマサト、ハービー山口、安珠が萩を切り取った写真展「萩コレクション～写真家が写したレンズの向こう側の萩」をプロデュース。

1976年生まれ。95年萩高等学校卒業後、日本写真学園に進学。01年帰郷し、光洋写真館入社。06年ゆずの北川悠仁らと横浜で写真展開催。07年着物ウィークin萩でテラウチマサト氏と出会い、同氏を師事。

■光洋写真館 Mスタジオ：萩市土原 484
TEL 0838・22・3296

(株)エヌティーエー旅行

従来の旅行業とは地元から出て行くお客様へのサービスが主流であったのに対し、地元で観光客を引き込むサービスにも着眼し、今年、第1回全国地旅大賞で優秀賞を受けた着地型商品「古地図で歩く水のまち萩」を企画した株式会社エヌティーエー旅行を訪問し、阿川仁海代表取締役にお話を聞きました。



断固たる決意

昭和60年代、バブル景気により日本が華やかだった時期を大学生として過ごし、求人倍率も2倍を超えていたので、就職活動を積極的に行うこともありませんでした。そして、当時流行したトレンドドラマの影響でツアーコンダクターが一躍人気の職業となり、軽い気持ちで旅行会社を受け、内定をいただきました。また、国家公務員にも受かっていましたが、当時の風潮がその道を考えていませんでした。そうして平成元年、大学を卒業し、(株)サンデン旅行に4年ほど勤め、平成4年、(株)日本旅行サービスに転職。

その後9年間萩支店で勤めますが、バブル崩壊に伴い、萩からの撤退が決まります。サラリーマンが好きでしたし、何よりも日本旅行の社風が好きでしたので、転職の話をしたとき、それも人生かなと考えましたが、ふと「自分でできないだろうか？」と何となく思い、選択肢の一つとして、起業する方法を調べ始めたのです。そうするうちに日本旅行との提携販売契約を交わし、顧客も引き継ぐことで経営が成り立つだろうと、断固たる決意で、起業を決めました。

淘汰の時代を迎えて 企業なり人なりの考え方

妻と社員1人計3人で営業スタートしたのが平成14年2月。カウンター、電話、システムを揃え、前職場と同じ感覚で営業をしていたのですが、あることに気がきます。「領収書がない。」

サラリーマン時代は会社の引き出しを開ければ領収書があったのですが、その領収書を先ず自分で用意しなければならぬわけですから、当たり前ですが、そのことで、経営者としてのバランス感覚が養え、改めてハードな仕事なのだと思えました。すべての責任は自分にあるのだと。

その後、順調に業績をあげ、平成18年4月に山口市小郡のロックタウンに支店を構えました。現在私を含め社員一同「相手の目的のために自分があり、旅を通じて社会と繋がる」「仕事を取ろうと思えば取れない」「イスに座ったら100%成約」「聞く姿勢」を理念に、お客様と心を通わせる営業形態へと進みつつあります。また、利益を必ず上げるために、できるだけリスクを回避し、コストを管理し、社員と同じ目的を共有することが必要だと感じています。

アウトバウンドとインバウンド

そもそも旅行業はアウトバウンド商品が主流であり、地元から外へ出ていく方へのサービスを行っていました。しかしネットの普及により、多くの情報を個人で手に入れることができる時代となり、ご当地モノを自宅にいながら手配できるようになりました。

そこで、観光地である「萩」という素材を商品にし、インバウンド型の営業により、収益源を増やせるのではないかなと考え、既存

の「萩観光」ではなく、地元住民のみぞ知る萩の楽しみ方を盛り込んだ商品開発を起案しました。ちょうど時を同じくして、国や地方行政がインバウンド型の経営を推奨し始め、その波に乗れるのなら、企画した着地型商品を全国旅行業協会が主催する「第1回全国地旅大賞」に出品し、約130点の中から、優秀賞を受けることとなったのです。もちろんこの受賞は当社の企画が良いというだけでなく、「萩」という素材が素晴らしいのであり、起業する前、転職し、萩を離れるという選択肢を消し去る要因となった「萩の魅力」がそこにあるのだと確信しています。

流れの無い水溜りが濁るよう、萩が人の行き来のない荒んだ街になってほしくない。萩の方には外の世界を、他地域の方には萩を、その流動が地元活性化に繋がると信じ、今後もそのお手伝いをさせていただきます。

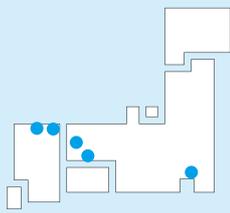
(株)エヌティーエー旅行



本社：萩市大字土原165番地
TEL：0838・21・0020
http://www.nta-travel.co.jp/
資本金：1,500万円
年商：5億5,000万円
従業員数：11人
事業内容：旅行業

口こみツアー(自社ブランド)
支店：ロックタウン小郡店/山口県山口市小郡前田町ロックタウン小郡店内
TEL 083・974・0055)

同窓会だより



情報ください!

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。
hagi-network@city.hagi.lg.jp

10月18日
第60回山口指月会
翠山荘(山口市)



恒例のビンゴ大会

55人が参加。60回目の節目を記念して、萩高への思いを綴った手作りの同窓会誌を発行。幹事長は若手の中原重正さん(57年卒)

9月12日
第18回九州指月会
平和楼(福岡市)



あいさつする藤田博文会長(34年卒)

23人出席。土曜日の夕方に開催、今年から開催日を9月第2土曜日で固定すること。2年後には20回目を迎えます。事務局は廣瀬勝彦さん(39年卒) 093-201-6303

10月24日
第1回萩商工同窓会
九州支部総会
小倉飯店(北九州市)



九州支部長の佐々木紀生さん(34年卒)のあいさつ

設立第1回総会、43人参加。工業は毎年開催していましたが、商業OBにとっては久々の同窓会が和やかな楽しい会になりました。事務局は鈴木栄治(55年機械卒) 093-962-0105

10月24日
第42回東京指月会
日本工業倶楽部(千代田区)



校歌斉唱

約220人出席。今年の引受期は31期(54年卒)、代表の藤井一民さんほか総勢42人が受付、進行、特産品販売などを担当。萩高同窓会八八会の引受期は、同級生の動向が気になり始める33~34歳ですが、東京指月会の引受期は、そろそろ故郷が懐かしくなり始める48~49歳。来年の開催は10月16日(土)に決定。事務局長は三浦孝夫さん(43年卒) 03-5835-4161 (海事プレス社内)

9月12日
第51回たちばな会・
第32回からたち会広島支部
ホテルセンチュリー21 広島(広島市)



校歌の音頭をとる土佐岡文夫さん(43年電気卒)

31人出席。今年3月に萩商工同窓生1期生が卒業しました。今後、愛称の決定、会員名簿、ホームページを作っていく。萩商工同窓会として、6月に関西支部、9月に広島支部、10月に九州支部が発足し、11月に関東支部が予定されています。会長は藤本正さん(42年建築卒) 082-545-3630 (コストプランニング株内)



藤村日出夫さん(40年・商業卒)。平成7~11年、NHKテレビ(大阪)の気象予報士。大阪から今年6月、広島に初めて転勤しました。現在はNHK広島、山陰放送、RCC中国放送、FMなどに出演中



△福引で特賞(萩本陣のペア宿泊券)に当たった針生純子さん(15期・38年卒)と村田昌志副会長

元気で明るい未来を歌に 萩市の歌 歌詞募集!!

萩市では、来年3月の合併5周年を記念して「萩市の歌」を制作します。元気で明るい未来をイメージさせる歌詞を募集します。

■応募資格 市内外を問わず、萩に親しみを感じている方

■募集期限 11月30日(月)

■応募規定

○未発表のものに限り、1人1点とする。

○歌詞の構成は1番から3番とする。(最長で5番まで) ほか ※萩市ホームページで詳細をご案内しています。

(問) 〒758-8555 萩
市企画課「萩市の歌制作係」
(08388-2533569)



自筆の「和」と記した色紙をプレゼントする三輪さん

敬

老の日を前に、野村萩市長は、来年2月4日に100歳を迎える人間国宝の萩焼作家、三輪壽雪さん（椿東）を訪ね、長寿をお祝いしました。

野村市長が「いつまでもお元気でお過ごしください」とお祝いの言葉を述べると、「馬齢を重ねての。もう20、30年は頑張ろうと思っておりますが、欲張り過ぎですか」と笑顔の三輪さん。

「血行を良くすれば病気になる」が三輪さんの持論。一緒に住んでいる陶芸家で三男の和彦さん（58歳）によると、「最近はずをよく書き、ろくろの前には気が向くと座る日々。食事は朝と夕の一日2回で、朝の牛乳・果物と、夕食の温泉卵は欠かさない」という。

午後は約1時間、家族が運転す

来年
100歳

お元気な 三輪壽雪さん (人間国宝)

「もう20、30年は頑張ろうと思っておりますが、欲張り過ぎですか」

る車で、菊ヶ浜など海を見にドライブ。数年前までは自転車でも出かけていたが、さすがに今はやめている。「事故でも起こしたら皆さんに迷惑がかかるから」

「健康に気をつけていつまでも」と逆に市長を励まし、自筆の「和」の一字に「百翁壽雪」と書いた色紙をプレゼント。帰るときには、玄関まで出て見送るお元気な三輪さんでした。

三輪壽雪（みわじゅせつ）
1910（明治43）年2月、旧萩藩御用窯の歴史を持つ三輪家9代雪堂の三男として生まれた。67年に11代休雪を襲名し、83年に重要無形文化財萩焼保持者に認定。2003年に休雪の号を長男・龍作に譲り、自らは「壽雪」に改名して創作活動を続けている。

萩出身の笹村直也君

国体大会新で優勝

萩西中卒の笹村直也君（山口高校3年生）が、10月3日、新潟県で開催された国民体育大会「トキメキ新潟国体」、少年男子共通800mに出場し、1分50秒57の大会新記録で優勝しました。2年後の2011年「山口国体」での活躍が期待されています。



ゴールの瞬間、拳を振り挙げて喜ぶ笹村選手（山口新聞提供）

めるなど、今春から足の負担が比較的少ない800mに転向。その後、今年の夏の全国高校総体（インターハイ）4位、国体優勝と、中長距離の素質が一気に開花しました。

決勝では、ラスト50mで、インターハイ1位と2位の選手を

ルの中で、勝負できるような張り合い、関東の大学進学を希望しており、2年後の山口国体では、ふるさと梓での活躍が期待されます。

笹

村君は萩西中3年のとき、100m、200m、400mの3種目で県内トップの記録をマーク、特に400mは県の歴代最高を記録。山口高校に進学後は、貧血症や膝を痛

驚異的な追い込みで抜き去りそのままゴールイン。ゴール直後は「優勝が本当なのか不思議な感じもあった」が、表彰台では「1位はいいな」と実感。「これからは日本のトップレベル

また、10月18日、山梨県で開催された日本ジュニア・ユース選手権では、大学生・高校生の中で2位と健闘。笹村君が世界の舞台で走る日が来るかもしれません。

旧東宮御所 (迎賓館赤坂離宮)

国宝に！

設計は萩出身の片山東熊



萩出身の片山東熊とうくまが設計した旧東宮御所（現・迎賓館赤坂離宮）が、明治以降の文化財としては初の国宝に指定されました。ネオ・バロック様式の宮殿建築で、明治42年（1909）、皇太子明宮嘉仁親王（後の大正天皇）の住居として完成し、今年100年を迎えました。西欧の建築様式ながらも、屋根の甲冑をかたどった青銅製彫刻など日本の装飾も見られます。

片山東熊（1854～1917）萩藩士の家に生まれ（今古萩町）、12歳で奇兵隊に入隊。工部大学校（東大工学部の前身）の造家学科に入学し、英国人建築家コンドルに学ぶ。後に宮内省に入り、多くの宮殿・離宮などを設計、明治の近代建築をリード。東宮御所は当時最高の技術を集大成した傑作。ほかに東京（表慶館）・奈良・京都の国立博物館など。

松陰先生の「思想」と「行動」をたどる旅のような宝物殿です



松陰の親族、杉治彦さんや吉田愛子さんらがテープカット

松陰神社宝物殿
至誠館が
10月28日から
一般公開!!

吉田松陰先生150年祭

吉田松陰先生に関する貴重な遺品や遺墨等の宝物を保存し、松陰先生の志を次世代に引き継ぐため、先生の命日である10月27日に開館し、28日から一般公開されています。

館内は、松陰先生の生涯を長さ8mに及ぶパネル年表で紹介するコーナーや死を目前にした松陰先生の思いが伝わる刑死の直前に松下村塾塾生たちにあてて書かれた「留魂録」の展示など、時代を超えて人々の心を揺り動かす松陰先生の志が伝わってくる施設です。

■開館時間 午前9時〜午後5時（入館は午後4時30分まで）
■休館日 年中無休
■入館料 一般500円、中・高校生250円、小学生100円
■問い合わせ
松陰神社宝物殿 至誠館
(0838・24・1027)



「松陰先生画像」奉納

至誠館入り口に、日本画家 内田青虹さん（萩高5期、28年卒）が描いた松陰像が飾られています。これまでの松陰先生肖像は、老成された年輩の印象が強く感じられましたが、「若い感じで描きたく、お身内の方にもお話を伺いながら、心を込めて描きました」

松陰先生ゆかりの地

全国にある松下村塾①



世田谷区松陰神社内



玉川大学松陰神社

①東京都世田谷区松陰神社内

（昭和13年）

国士館の創立者、柴田徳次郎氏が、松下村塾教育の現代化を建学の精神とし、当時の国士館専門学校の内に建設。建築から3年後の昭和16年には、世田谷区の松陰神社

内に移築奉納された。

②東京都町田市玉川大学内

（昭和41年）

玉川学園創立者、小原国芳氏が松陰ファンであったことと、通信教育部のスクーリングの場として建設。

吉田松陰先生 150年祭記念

オリジナルフレーム切手の通信販売!

松陰や松下村塾、萩城、野山獄跡、明倫小学校、留魂録などの写真、絵柄10枚（各80円切手）。

①受付期間 10月26日(月)～12月28日(月) 限定1000部、売切次第終了。

②販売価格 2,000円（送料込）

③発送開始 11月16日(月)から

④問い合わせ 記念切手販売促進委員会（松陰神社内）
TEL0838・22・4643



夢 追人

萩焼新進作家 ③

納富尚子さん

大華山 鳥雲
たいかさん ちょううん

（萩市江向在住、萩高平成9年卒 30歳）



ごく普通に過ごす

初代鳥雲を祖父に持ち、父もまた鳥雲窯で活動する萩焼作家。多くの萩焼作家の子がそうであるように、萩焼が当たり前にあるような家庭で育ちました。しかしながら、実家と窯元は離れており、窯元は父の職場という感覚でしたので、窯元が遊び場ということはありませんでした。ですので、学生時代は萩焼に興味を持つことなく、

尊敬する父を知りたい

2度の海外生活により、英語を不自由なく自然に使えるようになったのは良いのですが、いざ喋れるようになると、英語を使う職業に憧れが薄れている自分がいま

20歳の誕生日を迎えたとき、ふと自分の家族について考えました。特に父に対しては、体が弱いにも拘わらず、家族を守り、私のやりたいことを支援してくれました

ごく普通なもので、ピアノ、習字、剣道、水泳と習い事をし、特に剣道は高校まで続け、中高と部活の仲間と汗を流す日々を送っていました。ただ高校時に、将来は英語を使う職業に就きたいと考えるようになり、それには萩で過ごすのはもったいないと思い始め、1年間ほどイギリスへ留学しました。その後大学に進学しますが、日本語圏で生活しても…と思いつつ、カナダへ遊学します。

結婚、出産、育児

平成13年、カナダから萩へ戻り、父・納富晋に師事し、3年間ほど修行の日々を送ります。この頃は定額の給料制であったので、いくら娘であろうとも給料分は働かなければと、ある程度量産する事や周りの評価など、気負いながら作陶活動をしていました。

転機となったのは、結婚し、子どもを授かった時。出産から育児で、作陶から離れなくてはならなく、その間に、同世代の若手作家

母として、跡継ぎとして

今は、一に家族を守るといふ母親、妻としての仕事があつて、萩焼はその次。しかしながら、作陶意欲は20歳の時と変わらず、物作りで自分を表現したい気持ち強く持っています。主に制作しているのは生活雑貨。イギリスとカナダに住んでいたとき体験したティータイムやパーティー、その異文化のテーブルセットや、緩や

と差が付かないだろうかと不安を覚えました。しかし、2人の子どもを産み育てる5年の間、そのブランドが、周りの評価を気にせず、自分らしく、自分のスタイルにあった作陶活動をすれば良いのではという考えにさせてくれ、それまで抱えていた不安や気負いが無くなりました。また、幸せなことに、主人が安定した収入のある職業なので、労働生産性を気にせず、時間をかけ、作品一つ一つを本当に大切に創れるようになりました。

かな時間を楽しむための小物を萩焼で表現したいと思っています。また、通常、萩焼は底面には釉薬を塗らずザラついており、荒く扱うとテーブルに傷が付いたりもします。そこで傷が付かないよう底面にも釉薬を塗って滑らかにしたコップなど、小さな子どもを持つ母親ならではの発想を取り入れた作品も作っています。

とはいえ、今後はマイペースに自分を表現するために作陶活動を続けるだけでなく、窯を継いでいく事、またその方法を父にはない発想で発案していくことが必要となってくるでしょう。そしてそのことが、低迷する萩焼業界はもとより、萩を元気づけるための微力となるであろうと信じています。

1979年生まれ。98年萩高等学校卒業、同年神奈川大学に進学、2000年同大学中退後カナダに遊学、01年萩に戻り、父、納富晋に師事する。
04年／萩陶芸家協会展 出品
■大華山 鳥雲窯：萩市山田4431
TEL 0838・22・5822

第63回 山口県美術展覧会
下瀬信雄さん 大賞受賞！



下瀬信雄さん



大賞受賞作品「サンタモニカ」
(16ページにカラー写真)

10月に開催された第63回山口県美術展覧会で、萩市瓦町在住の写真家、下瀬信雄さん(65歳)が大賞を受賞しました。県内外から474点の出品があり、全国的にも独創的で評価の高い県美展で、大賞を萩市の作家が受賞しました。

県美展で写真作品が大賞を受賞するのは初めてのこと。これまで身近な自然や暮らしに目を向け、モノクロ作品を多く発表してきた下瀬さんは、今回の県美展には「新人作家の気持ちで」出品したといえます。

「日本にあるキッチュな感じの外国の文化をみた時に、ミスマッチなのか溶け込んでいるのかわからない。その不思議さに感動し、大分県と同じ場所で100枚以上も撮影した写真を合成させて、今回の作品を作った。コンピュータの技法を駆使した本作品が、写真作品といえるのか、現代アートの作品といえるのか、デジタルの発達が表現にどういった関わりを持つのか、試行錯誤しながら制作している。」

■作品評

金子賢治(東京国立近代美術館工芸課長)
一見なんでもない現実の風景のようで、細部を観察していくと作者の執拗なまでの仕掛けと意図が明らかになっていく。

まず目に入る黄色のソフトクリームスタンド、「サンタモニカ」の文字。トンビが飛ぶ虚空に、下辺の濡れ斜面は画面の外へと広がって滑り落ちていく感覚が心地よい快感を覚える。

淡白な水墨画風の周囲に挟まれた原色の強い色彩を見事に融合させた色彩感覚、構図、構成。その中に現代日本のごった煮文化の濁りと、しかし、それでもなおかつ元氣に行こうという力を感じさせる作品である。

萩博物館だより

☎0838・25・6447

没後一〇〇年記念

伊藤博文とその時代

開催中〜11月18日(水)

日本の近代国家建設をめざした伊藤博文の軌跡をたどります。
開館時間：午前9時〜午後5時
年中無休

観覧料：大人500円、高・大学生300円、小・中学生100円

タイムスリップ
城下町 萩のひみつ

11月28日(土)

平成22年1月28日(木)

江戸時代の城下町絵図を、現在も地図として用いることができるまち・萩。4つのキーワード「低湿地」、「鉄道」、「夏みかん」、「災い」で、変わらない「まち」のひみつを追い、今に息づく城下町萩を再発見します。
駐車場：普通車66台 1回300円(萩市民は無料)

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

フランスの浮世絵師
アンリ・リヴィエール展

開催中〜12月6日(日)

19世紀末のジャポニズムに影響を受けたパリの画家。世界初となる回顧展。



帽子を被ったリヴィエール(1922年)

観覧料：一般1000円、70歳以上学生800円

◎シリーズ山東文物⑧

・中国山東省古玉器・

中華のかがやき

12月19日(土)

平成22年2月21日(日)

中国古代文明において儀衛、富や権力の象徴として重宝されてきた「玉」の、新石器時代から青銅器の文様にまで継承される精巧な造像表現などを紹介。

開館時間：午前9時〜午後5時
休館日：月曜日、12月28日(月)
〜1月1日(金・祝)、12日(火)
※11月23日(月・祝)、1月11日(月・祝)は開館。

情報アラカルト

海外

■タッチファイヤー 女性芸術家
による日本の現代陶芸展

三輪華子の作品が展示されます。
10月9日(金)～2月28日(日)
アメリカ マサチューセッツ スミ
スカレッジ美術館

関東地区

■萩商工同窓会関東支部総会

関東地区の萩商業、萩工業の同
窓会。
11月7日(土) 午後3時～
東京都港区南青山1・24・4
ホテルはあといん乃木坂
(03・3403・0531)

■東京須佐会

関東地区の須佐地域同郷会。

11月21日(土) 正午～
東京都港区高輪4・10・56
日立金属 高輪和彊館
(03・3443・1717)

■おいでませ山口館のイベント

○「萩・長門フェア」(仮題)
11月9日(月)～18日(水)
東京都中央区日本橋2・3・4日
本橋プラザビル1階 おいでませ
山口館(03・3722・3510)

■十二代三輪休雪 愛壺展

11月18日(水)～24日(火)
東京都中央区日本橋室町1・4・

1 日本橋三越本店

(03・3241・3311)

■アイランダー2009

全国の島の祭典で、萩諸島の魅
力をPRします。
11月21日(土)、22日(日) 午前
10時～午後6時(22日は午後5時
まで)
東京都豊島区池袋 池袋サンシャ
インシティ文化会館2階
(03・3989・3331)

■萩ガラス展

11月25日(水)～12月6日(日)
東京都世田谷区三軒茶屋2・14・
22 レインオンザルーフ
(03・3487・8811)

■濱中史朗展

濱中史朗の作品が、展示販
売されます。
11月開催予定
東京都世田谷区奥沢5・28・1
finoJ I Y U G A O K A カギロ
イ(03・3721・7186)

■濱中史朗展(仮題)

濱中史朗の作品が、展示販
売されます。
12月開催予定
東京都港区元麻布3・12・46 さ
る山(03・3401・5935)

関西地区

■第43回女流陶芸展

松尾優子の作品が展示されます。

11月21日(土)～29日(日)
京都市左京区岡崎円勝寺町124
京都市美術館
(075・771・4107)

■小田光治作陶展

11月12日(木)～18日(水)
大阪市阿倍野区阿倍野筋1・1・
43 近鉄百貨店阿倍野店8階
(06・6624・1111)

中国地区

■濱中史朗個展

11月21日(土)～終了日未定
広島市中区本川町2・1・13
和光パレス21・1階 LOU T
(082・578・2534)

■濱中孝子展 二人展(仮題)

12月12日(土)～20日(日) 午後
0時～7時(20日のみ5時まで)
島根県松江市白湯本町33出雲ビル
4階 S O U K A 草花
(0852・27・0933)

■内村幹雄作陶展

1月22日(金)～26日(火) 午前
10時～午後7時30分(26日のみ4
時まで)
岡山市北区表町2・1・1
天満屋岡山店
(086・231・7111)

山口県関係

■合同たちばな会・からたち会・
巴城会、光塩下関支部総会

下関地区の萩商業高、工業高

萩高、光塩の合同総会。

11月28日(土) 午後6時30分～
下関市彦島西山町南風泊 漁港活
魚センター

■維新劇・創作ミュージカル「S
HOW IN 若き志士たち」

松陰先生150年祭を記念し、
その生涯と、遭された現代に生か
すべき数々のメッセージを創作
ミュージカルとして観客に伝え
る、オリジナル維新劇です。
12月23日(水・祝) 午後2時～
観覧料 一般2000円、高校生
以下1000円(当日500円増)

山口市中央2・5・1

山口市民会館
(083・923・1000)

■ベアティル・ペアン作陶展

11月6日(金)～10日(火)
山口市後河原1221 ギャラ
リー・ラ・セーヌ
(083・922・4009)

■てしま・大屋窯展

12月開催予定
山口市阿知須7418・8 てし
ま旅館(0836・65・2248)

■企画展「酒と器」(仮題)

濱中史朗と大屋窯の酒器が、展
示されます。
山口市小郡上郷15000・144
ベルフルール
(083・972・4556)

萩市関係

■現代陶芸薩長連合展

第56回日本伝統工芸展

- 陶芸家 岡田裕、岡田泰、野
坂和左、波多野善蔵、松尾藻風、
松尾優子の作品が入選しました。
- ◆金沢展 10月30日(金)～11月
8日(日) 石川県立美術館
- ◆仙台展 11月11日(水)～16日
(月) 三越仙台店
- ◆岡山展 11月19日(木)～12月
6日(日) 岡山県立美術館
- ◆松江展 12月9日(水)～25日
(金) 島根県立美術館
- ◆高松展 1月2日(土)～17日
(日) 香川県立ミュージアム
- ◆広島展 1月20日(水)～2月
7日(日) 広島県立美術館

朝鮮半島から伝来した「萩焼」
と同じルーツを持つ「薩摩焼」と
の作品交流展。茶陶が中心の萩焼
54点、華やかにデザイン化された
薩摩焼21点の対比。

11月7日(土)～29日(日) 午前
9時～午後5時
萩市呉服町 旧久保田家住宅
(問) 萩市商工課
(08388・253638)

■萩焼ぎやうらしい彩陶庵の企画展
「濱野由美 暖かい」(仮題)

シヨールや帽子、髪留めなど
フェルトを素材としたカラフルで
暖かな作品です。

11月20日(金)～29日(日)
萩市呉服町1・3 彩陶庵

新規(再)加入会員

(8月26日～10月27日 36人)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 伊藤清人さん (秋市) | 三好政さん (山口市) |
| 安達義和さん (秋市) | 岩本龍治さん (周南市) |
| 伊藤秀樹さん (山口市) | 浅原司さん (山口市) |
| 津田久美子さん (秋市) | 東屋元敬さん (山口市) |
| メルセス会日野修道院 (東京都市野市) | 斉藤肇さん (山口市) |
| 宗榮充将さん (秋市) | 藤原俊樹さん (山口市) |
| 金子征男さん (広島県広島市) | 柴田利道さん (山口市) |
| 横山修二さん (福岡県福岡市) | 岡村達也さん (山口市) |
| 鬼村博さん (広島県広島市) | 緒方妙子さん (東京都市野市) |
| 中村迪子さん (秋市) | 吉村洋平さん (神奈川県川崎市) |
| 國友美和子さん (京都市京都市) | 野村哲男さん (東京都中野区) |
| 来嶋健治さん (広島県安芸郡) | 山下美智子さん (千葉県千葉市) |
| 小川陽さん (茨城県常陸大宮市) | 伊藤義博さん (福岡県北九州市) |
| 小池正嗣さん (山口市) | 廣中浩毅さん (福岡県北九州市) |
| 阿武三雄さん (東京都新宿区) | 永峯忠彦さん (福岡県北九州市) |
| 坂本哲宏さん (山口市) | 田中誠治さん (福岡県北九州市) |
| 吉野顕嗣さん (山口市) | 松浦隆敬さん (福岡県北九州市) |
| 山川佐知子さん (秋市) | |

■「日本の第九」演奏会
秋市・鎌倉市姉妹都市提携30周年記念事業。鎌倉交響楽団が来秋。12月12日(土)午後3時～
秋市江向495・4 秋市民館
(08388・255・1234)

秋市江向495・4 秋市民館
(08388・255・1234)

■第3回山口県総合芸術文化祭・第37回山口県芸術演奏会
秋市出身で世界オペラ歌唱コンクールにアジア代表として出場した米谷朋子さん(7月号で紹介)が出演します。
12月23日(水・祝)午後1時30分～

■藤崎恒頼絵画展
1月14日(木)～19日(火) 午前10時～午後5時(予定)
秋郵便局コミュニティルーム
■海援隊トーク&ライブ
平成22年1月31日(日) 午後5時
全席指定4500円
秋市江向495・4 秋市民館
(08388・255・1234)

(問) 秋市文化・生涯学習課
(25・3590)

九州地区

■陶芸散歩の会会員展 酒器展
坂純子の作品が展示されます。
11月14日(土)～23日(月・祝)
福岡県福岡市早良区百道浜1・3
70ハイアットレジデンスシャルス
ウィット福岡1F ギャラリー一
番館(092・841・0050)

■岡田裕作陶展
11月17日(火)～23日(月・祝)
福岡県福岡市中央区天神2・1・1
福岡三越
(092・724・3111)

テレビ情報

■KRY山口放送「松陰を継ぐ君へ 青春の山河」
松下村塾、関門海峡などを巡りながら、高杉晋作、久坂玄瑞、伊藤博文の青春群像に迫ります。下瀬信雄さんの写真によって描く「歴史紀行」。
放映日 11月1日(日) 午後3時～3時55分

■NHK山口放送局 特集番組 YAMAGUCHIスペシャル
「日本海vs瀬戸内」
日本海代表で「萩の金太郎」が出演します。
放映日 11月27日(金)
■TYSテレビ山口「吉田松陰はいま～没後150年」(仮題)
開局40周年記念番組として制作されます。
放映日 12月6日(日) 午後2時～2時54分

出版情報

■BS・TBS「にっぽん百景」
「古都の香りー浪漫紀行」山陰の小京都 萩(仮題)
萩の自然などを紹介する紀行ドキュメンタリー番組で、10月開催の見島凧揚げ大会も紹介されます。
放映日 11月16日(月) 午後7時～8時

■「知られざる『吉田松陰伝』」宝島「のステイ・ウンズンがなぜ？」
よしだみどり著
世界で最初の「松陰伝」の謎！何が英国の文豪を感動させたのか。 ※烈々たる日本人」を改題。
新書判/219ページ
価格 798円
発行 祥伝社新書

■ブックレットシリーズ「萩ものがたり」
②3「維新の精神・松本健一講演集」
松本健一(作家・評論家)
140年前の「維新の精神」に学ぶことの意義を説いています。
価格 600円A5版/63ページ



②4「萩の近代化産業遺産」
道迫真吾(萩博物館研究員)
長州藩が試行錯誤しながら、自力で産業の近代化に挑戦した軌跡。
価格 600円A5版/61ページ



申し込み 一般社団法人 萩ものがたり事務局
(08388・255・3233)

プレゼント

○特産品「萩の金太郎」新作加工品の詰め合わせを5名様。
○松陰カレンダーを3名様。
応募方法 ハガキに品名、氏名、住所、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。11月末日(消印有効)。



着物フォトコンテスト

「萩八景遊覧船乗船記念」
藤田睦美（兵庫県）

講評◎2人の女性と、奥に広がる松林と傘との色合いにインパクトがある。

（萩八景遊覧船の運行期間は、3月～11月。所要時間40分で大人1,200円、小人600円）

写真館

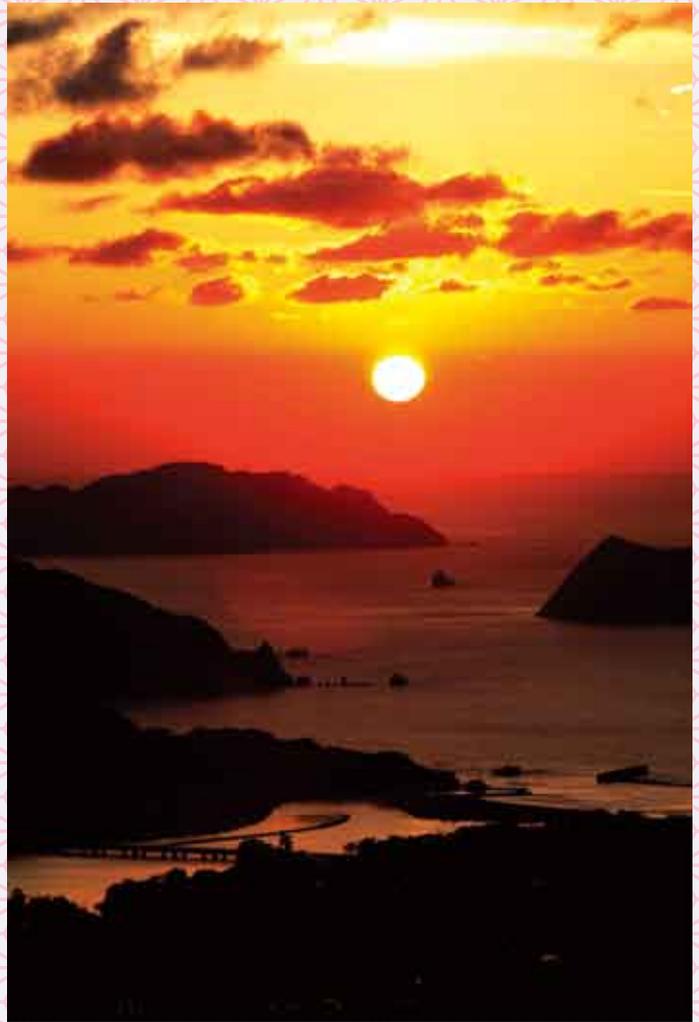


県美展 大賞 下瀬信雄「サンタモニカ」

ソフトクリームスタンドの両側に自動販売機、右には車と「うどん・そば」の文字、左には蒸気機関車。空にはトンビ、下は雨に濡れたコンクリート。



写真グループ シャッターチャンスほほえみ 椿八幡宮の银杏「一陣の 風に黄金が 舞い散りぬ」 山田弥一（萩市山田玉江浦）



日本海に沈む夕日。幻想的な夕景は萩に住む人々も自慢の景色。訪れる人を魅了する。（画像提供 産経新聞社）

萩・川上・むつみ・須佐・阿武町

郷土料理レシピ②

わかめむすび

材料(5人分)

- 干しわかめ・・・20g
- ご飯・・・茶碗5杯分

作り方

- ①干しわかめは固すぎるので、水を打って濡れぶきんにくんで平均に湿らせて（少量の清酒で湿り気を与えると良い）、よく切れる包丁で細かく刻む。大量に作って陽に当てよく乾かし、密閉して保存しておくといよ。
- ②むすびを作って、きざみわかめをまぶす。むすびの芯に梅干を入れるといよ。



郷土料理 豆知識!

旧藩時代には、参勤交代の時、長州藩の侍が、わざわざ国元の「きざみわかめ」を持参したといわれる。手軽でおいしく、現在も行事や遠足などには必ず作られ親しまれている。新わかめで作るきざみわかめは、磯の薫り高く格別の味。おむすびにきざみわかめをまぶすと、わかめが飯の水分を吸って、さらに香りを高める。全国の代表的なおむすびの一つとして、食糧庁が選定した「ふるさとのおむすび百選」にも選ばれている。